

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2008-188474(P2008-188474A)

【公開日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-127488(P2008-127488)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月11日(2010.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 ゲームに対して賭け数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、前記可変表示装置の表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシンにおいて、

ゲームの進行を制御するとともに、ゲームの進行状況に応じて遊技用制御信号を送信する遊技制御手段を搭載した遊技制御基板と、

前記遊技制御手段からの前記遊技用制御信号に応じてスロットマシンに設けられている演出用電気部品としての複数の発光体を制御する演出制御手段を搭載した演出制御基板と備え、

前記遊技用制御信号とは異なる制御信号であって前記演出用電気部品が正常に動作するか否かを確認するための確認用制御信号を、送信間隔を変更して送信可能な動作確認用基板が前記演出制御基板に接続可能に構成され、

前記演出制御手段は、前記確認用制御信号の送信間隔に応じて異なる点灯移動スピードで前記各発光体を個別に点灯または消灯させる制御を実行する

ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明によるスロットマシンは、1 ゲームに対して賭け数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、可変表示装置の表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシンにおいて、ゲームの進行を制御するとともに、ゲームの進行状況に応じて遊技用制御信号を送信する遊技制御手段を搭載した遊技制御基板と、遊技制御手段からの遊技用制御信号に応じてスロットマシンに設けられている演出用電気部品としての複数の発光体を制御する演出制御手段を搭載した演出制御基板と備え、遊技用制御信号とは異なる制御信号であって演出用電気部品が正常に動作するか否かを確認するための確認用制御信号を、送信間

隔を変更して送信可能な動作確認用基板が演出制御基板に接続可能に構成され、演出制御手段が、確認用制御信号（例えば、テストコマンド）の送信間隔に応じて異なる点灯移動スピードで各発光体を個別に点灯または消灯させる制御を実行することを特徴とするものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明によれば、スロットマシンを、演出制御手段が、遊技用制御信号とは異なる制御信号であって演出用電気部品が正常に動作するか否かを確認するための確認用制御信号の送信間隔に応じて異なる点灯移動スピードで各発光体を個別に点灯または消灯させる制御を実行するようにしたので、遊技演出を行うための演出用電気部品に関する動作確認を容易に行うことができるようになり、スロットマシンの動作確認の作業負担を軽減することが可能となる。